

八王子支部ニュース

東京都退職校長会八王子支部

支部長

辻野宗行

支部ニュース発刊に寄せて

八王子支部長 辻野 宗行

「コロナ」という感染症の出現で、世界中が大混乱した。働き方改革がこんなになるなんて・・・でも、一番の被害者は「学校の子どもたち」です。大学生を含めて、可哀想で見られない。そんなわけで、東京都退職校長会も活動を制限されてきました。我が八王子支部も活動が1/10位になり、さみしい限りです。そこで、会員相互の交流と会の活動情報の共有化を目指し、「支部ニュース」を発行することになりました。これからも支部の皆様と「心ひとつにして」いきたいと思っています。よろしくお願いたします。

東京都退職校長会の動向

◎令和4年第1回 支部長会 9/05 (月)

- ① 東京都教員採用担当 教員の補充が難しい。非常勤講師の年齢制限が無くなった。
- ② 平成21年(2009年)導入した免許更新制が令和4年7月1日廃止となりました。
- ③ 創立70周年記念式典 令和5年5月16日(火)調布市文化会館たづくりくすのきホール 祝賀会は予定なし
- ④ 会員増強
- ⑤ 都教委・現職校長会並びに関係諸機関との連携強化

◎令和4年第2回 支部長会 10/19 (水)

- ① 創立70周年記念式典の各委員会の熱意で、着々と部門別の準備が整いつつある。
- ② 名簿作成・発行に関する「名簿発行の基本的原則」を定め、業務の円滑化を図った。
- ③ 前半の会務運営も順調に進み、次年度に向けた準備に取り掛かる時期に入っている。
- ④ 会則改正に伴う支部長会の権限と役割についての再確認について(副会長 福島)

第1回地区委員会から 9/10 (土)

◎会長より

都退職校長会の動向、70周年記念事業などの報告がありました。また、新会員入会の働きかけについて話されました。

◎庶務より

総会時の予算編成の修正点や、総会資料・名簿の訂正が報告されました。

協議事項として・・・総会の反省、会の強活動についてなどが話され、その後各クラブからの報告がありました。

退公連の山口会長から

「生きがい作品展」への協力依頼がありました。

千野俊文先生から

53回総会を最期に役員を退任されました。退任の挨拶と感謝状へのお礼の言葉をいただきました。

物故者

謹んでご逝去を悼み、ご冥福をお祈り申し上げます。

- ・ 7 地区 7/2 井上佳一先生 95歳
- ・ 8A 地区 3/16 市塚正史先生 90歳
- ・ 8A 地区 7/24 蓮沼孝雄先生 90歳

(庶務 佐藤)

クラブ活動紹介

退職校長会八王子支部ではゴルフ、水墨画、囲碁、マジック、パソコン、ウォーキングクラブが活動しています。



ゴルフクラブ …ハタックゴルフクラブ、会員数30名、年6回のコンペを開催しています。大会優勝者の喜びの声をお届けいたします。

第175回 優勝者 能智 功 (第3区 B)

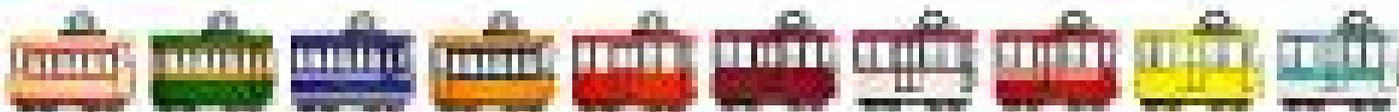
9月のハタック会例会で幸いにも優勝しました。同伴者の皆様にお礼申し上げます。エージシュートはスコアがワンラウンドで年齢以下のスコアを言います。一説では、ホールインワンは十万分の一、エージシュートはその百倍の確立。飛距離は年々落ちるため、パット、アプローチを磨いて目標を達成したい。後期高齢者の2、3年が勝負のため、生き甲斐にして練習したい。

第176回 優勝者 塚本 吉紀 (第5区 A)

ハタック176回例会にて優勝してしまったのです。何年振りかの一位。参加者もどんどん交代し、私が入会したころの先輩たちは、ほとんど退会されてしまい私は年齢で二番目の老いた会員に。今は、健康のためと参加、良きスコアを求めるが、それ以上にその日しっかりと18ホール終わるゴルフ「今日も元気で一日ゴルフができた」を願いコースに立っている。今回は優勝で心の健康にもなり喜ぶ。会員の皆さんありがとうございます。

ウォーキングクラブ

10月23日 第2回ウォーキングが開催されました。今回は、横浜です。参加者10名、快晴の中、長谷川義次先生(90歳)の健脚に何とかついていながら、伊勢山皇大神宮から成田山横浜別院、横浜市役所、日本丸(運良く全ての帆を張る、総帆展帆の日でした)、ドックヤード、赤レンガ倉庫などを見て、街の空気を感じながらのウォーキングでした。11月23日に第3回を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染者の増加により、中止となりました。



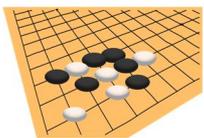


パソコンクラブ

パソコンクラブは、毎月第3水曜日に、教育センターにて開催されています。イラスト写真入りのポスター作り、インターネットの活用など内容豊富です。

森川 亮 (第15区 B)

福島先生を講師にお迎えして4年目になります。その間コロナ禍により休講したこともありましたが、今年度は順調に会が進行しています。目下、イラストや写真入りポスターの作り方を学んでいます。新しく会員になられた方も加わり心強い限りです。「今からスマホ」の本を購入していただきスマホのことは何でも質問すると気持ちよく教えていただけるのが何よりありがたいです。



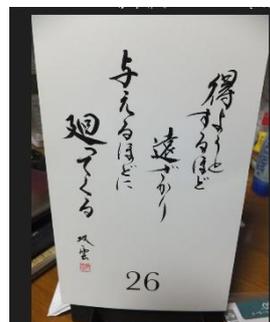
囲碁クラブ

活動再開

深山 睦弘 (第2区 A)

囲碁クラブは、子安市民センターで9時30分から16時ごろまで開催されています。

実に2年以上の中断を終えてやっと再開できた。中断中もフェイスガード、照射式体温計、噴霧型エタノール(碁盤・碁石)などを用意して、2度ほど実施を計画したが感染拡大で直前中止せざるを得ないこともあった。現在でも市内の各地区大会は開催に及び腰だが、わが囲碁クラブ、出席最多でも6名の小グループだが今は再開の喜びで楽しく盤と向き合っている。



第3回地区委員会 令和5年 2月4日 場所未定

地区委員会の会場として使用していた、東浅川保健センターが長期の工事に入りました。しばらくの間、北野市民センターか台町市民センターをお借りして会議を開催する予定です。ご不便をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。

水墨画クラブ

水墨画クラブは、原則毎月、第4水曜日、台町市民センターで午前9時から11時30分まで開催されています。

村田 英子 (第4区 B)

ある日の水墨画クラブ

本格的な水墨画を描く先輩方のクラブを存続させるべく二人の部員で頑張っています。そこへ新しい方が来てくださり、現職の頃の人名が共通の話題となり話はずみしました。柿の実を写生しながらちょっとしたサロンの雰囲気・・・

今をいかに充実させるかがこれからの課題だなどと思いつつ、楽しい一時を過ごしました。水墨画だけでなく、自分の描きたいものに取り組むクラブに・・・

新入部員大歓迎!!



マジッククラブは、毎月第2土曜日
午前9時から11時まで、台町市民センターで
開催されています。

マジッククラブ

田端 七郎 (第8区 A)

マジックは見る人に驚きと感動を与え、演ずる高齢者には手指の機能訓練や頭脳活性化にもなります。毎月1回の活動日に会員6名が台町市民センターに集い和気藹藹と研修に励んでいます。当番会員が持ち味の手品を演じ、その仕組みと操作を丁寧に指導しています。必要に応じて仕掛けも作り持ち帰ります。本当に楽しいです。本年度の研修内容は、①ロープの切りつなぎ ②速算術 数の不思議 ③コップに入れた水やコインが消える。 ④チャイナリングの人形が隠れて移動するなどです。なお、コロナ禍で外部出演はしておりません。



八王子支部ニュース

八王子支部ニュースの
発刊を祝す

東京都退職校長会会長 多田 丈夫（八王子 第4区A）

八王子支部の皆様、明けましておめでとうございます。お元気のことと拝察申し上げます。ここに、この度の支部ニュースの発刊に際し、喜びの一言を申しあげます。

苦楽を共にし、同じ釜の飯を食った同志の結束をさらに固めようとの意図もあり、誠にめでたい企画で、時期を得た粋な取り組みとも考えます。この3年間、コロナ感染症の拡大や非人間的なウクライナへの蛮行等で社会の不安が助長され、温かな人間関係が極端に奪われています。日々の生活も実に息苦しく、さらに、会員の日常の話題も遠ざかり、営々と築いてきた「世間」も失われつつあります。泣いたり、笑ったり、いかつたり、悲しんだりといった根源的な人間の感情さえ奪われています。これらも発刊に漕ぎつけた理由でしょうか。

私は今回の支部ニュースの誕生は、必然であり、人間関係復権の光明とも考えています。発刊にあたり、辻野宗行支部長は「会員相互の交流と会の活動情報の共有化のための発刊」と明言しています。どうか末永く力を合わせ、彩り豊かな紙面づくりに徹し、会員に愛される広報に育ててほしいと願う次第です。乾杯(令和5年1月3日記す)

東京都退職校長会の動向

退職校長の世代間では、デジタル化の対応にどのような違いがあるのか。

これからの入会校長の立ち位置

高齢と謂われる現会員の中には、IT拒否がみられる。それを自慢のように豪語する人もいる。

現在、ほぼ76歳前後以下の再任用制度を通ってきた校長は、以来、ずっと都教委、地教委からのPC付けによるIT慣れがある。入会したその人たちが今は、支部の役員に就くようになった。

現在、本会では、本部役員や運営委員、支部長や本部理事等々には、連絡のためのメールが活躍している。のみならず、正副会長会、運営委員会では、支部長代表を含むブロック長会では、ZOOMによるテレワークが毎回開催されている。 (副会長福島)

第2回地区委員会から 12/4

◎会長より

都退職校長会の動向、5/16の創立70周年記念式典に向けての取り組み。記念事業などについて報告。東京都退職校長会では5年に一度名簿を作成し、全会員に無償頒布してきましたが、今回は、有償頒布となる予定。新会員の入会の誘い等

◎支部だより編集委員会より

支部だより第43号を刊行することができました。会員のご協力に感謝。地区委員から会員全員に配布。また、教育委員会関係、現役小中高校の校長先生方にも配布。

◎退公連(山口会長より)

生きがい作品展への出品、参加の依頼。

◎「学校支援活動登録者名簿への登録のお願い」経営、教科・総合、特別支援、教師の研修、部活動などの分野への支援活動の登録願ひ。(庶務・中根まで)

◎各クラブからの活動報告

◎会員の現況 会員128名 特別会員・サポーター6名 (庶務佐藤)

クラブ活動紹介

- 水墨画クラブ・・・1月25日 新春描き初め
- 囲碁クラブ・・・1月16日 新春打ち初め
- マジッククラブ・・・12月20日 研修会 ・プロのマジシャンから指導を受ける。
- パソコンクラブ・・・12月20日 ・ワードアート、文字効果などを使って
- ウォーキングクラブ・・・3月 両国、江戸博物館などの予定

- ゴルフクラブ・・・11/21 競技会 12/19 はハタックオープンが開催されました。

優勝者から

第177回大会 優勝者 高橋 巖(第2地区B)

今日は真剣にプレーする方たちと廻りました。無口なパートナーとプレーできたので、私もよい成績を上げることができました。本日のパートナーに感謝です。

第10回オープン大会 優勝者 老沼 義晴(第16区)

ハタックには80歳を超えて尚ゴルフ楽しむ先輩が何人もいます。先日のハタックオープンの時も、80を優に超える大先輩と世間話やゴルフ談議に花を咲かせながら1日楽しくラウンドしました。

その先輩は未だに練習場に通い、飛距離を伸ばす努力をしているとのこと。いくつになっても常に向上心を持って前向きに生きることが、健康で長生きできる秘訣なのかもしれません。

忘れずに!!!

高齢者叙勲制度

春秋叙勲で叙勲されていない功労者のうち、満88歳になった方を春秋叙勲とは別に叙勲するもので、原則として毎月誕生日の翌月1日付で発令されます。この制度は、最終勤務校所管の教育委員会が、本人の叙勲の意思を内示にて確認し申請する仕組みとなっています。申請漏れを防ぐためには、叙勲を希望する人が、満88歳の誕生日の6カ月前までに、最終勤務校の所管教育委員会の庶務課に相談し、叙勲希望の意思を伝えることが大切です。

お願い

支部ニュースには、多くの会員の体験談、紀行文、旅行記、紹介したい散歩道、名所、本の紹介等々募集しております。会員相互の交流を図り、互いに学びながら元気に生活していきたいものです。今回は、「千人同心の道」「絹の道」「大山街道」「済州島一周」等々今なお、歩き旅の意味を自己に問いかけて続けている、千台先生に寄稿をお願い致しました。

四国遍路 千台 治男(第十五区B) その一 始めようとした動機

わざわざ四国まで出かけて歩くことと考えた動機から始めることにしよう。七十五歳の後期高齢者になった時、「ああ、オレの寿命もあとわずかかな」と感じた。そしてよりよく生きていくためには何をしようかと考えた。今は、特に仕事らしい仕事はやっていない。やっていることといえば、自分が好きなことばかりだ。その中でもウォーキングは六十五歳すぐから始めた私にとって比較的新しいことだ。その中でもソウルと東京間の二十一世紀の朝鮮通信使友情ウォークは大きなイベントだ。それはそれとして、個人的にも長続きするものが欲しかった。それで思いついたのが四国一周千二百キロの四国遍路だった。いろいろな参考書も発行されているが、その中で、「歩き遍路五十日モデルプラン」という本は参考になった。その本を参考にし、八十歳までの五年間で一周できるように一年間に十日間だけ歩くことを考えた。こうすれば三年の「生き甲斐」のようなものに行けることができる。何よりも八十歳までの見通しが立てられる。これが何よりも大きい。(自分に課した条件と四国遍路道中と続きます。次号にご期待ください。)

八王子支部ニュース

退職校長会が抱えている 会員減少の問題の対策について

東京都退職校長会副会長（情報推進担当）福島良樹 八王子4区A

○**広報活動の強化** 退職校長会の存在をより多くの人々に知ってもらうために、広報活動を強化することが必要です。例えば、ウェブサイト（ホームページ）やSNS（フェイスブック、インスタグラム、youtube、ライン、ツイッター）を活用して、会員募集の呼びかけや活動内容の紹介を行うことが考えられます。

○**新しい会員層の開拓** 退職校長会は、退職した校長を中心に構成されていますが、新たな会員層（再任用校長を含めた現職校長）の開拓も必要です。話が飛躍しますが、教育関係者や教育に興味のある人々など、退職校長会と共感できる人々を対象に、会員募集活動を行うことがあっても良いのではと考えています。

○**会員のニーズに合わせた活動の充実** 退職校長会は、会員のニーズに合わせた活動を提供することが重要です。例えば、生涯学習活動に関する情報収集に努め、会員研修会の開催や交流会や懇親会、クラブ活動の実施など、会員が求める活動を充実させることが会員維持につながると思います。

○**地域との連携** 退職校長会は、地域との連携を強化することで、会員拡大につなげることができると考えています。例えば、地元の学校や教育委員会と協力して、教育に関するイベントや講演会を開催し地域社会の教育に寄与することが必要と考えています。

○**最後に** 私を含めて役員が活動が役員だけの会議や活動で終わるのではなく会員一人ひとりのためになる、入会して良かったと思える活動にしていくことが大切と考えます。

令和5年度長寿お祝いの会員

5年度中に88歳を迎えられる米寿、77歳を迎える喜寿の方々に心からお祝いを申し上げますとともに、ますます元気にご活躍下さいませようお願い致します。

（後日、都・市退職校長会より記念品を贈呈させていただきます。）

米寿

白川茂一(5A) 赤木三夫(3B) 渡辺恵敏(15C)
茅野俊文(3A)

喜寿

網 保夫(5B) 川口法正(9) 栗田和世(12B)
松澤茂久(13) 佐藤静雄(13)

第3回地区委員会から 令和5年 2/4

◎会長より(辻野)

都退職校長会の動向、5/16、70周年記念式典への参加とご寄付の依頼。都総会は6/28等

◎副会長より(福島)

・都会員名簿は役員・地区委員に無償配布

◎庶務より(中根庶務)

・学校支援活動登録者名簿4月一杯。・支部総会に向けての役割分担について確認。今年も、総会資料を製本する作業日を設定せず、印刷製本業者に依頼する。

◎支部だより編集委員会より(上田)

・内容の充実を図るため、大勢の方々が原稿をお寄せ下さるよう期待いたしております。

◎退公連(山口会長より)

・「生きがい作品展」出品、参加のお礼。市長、教育長様、多くの方々にご鑑賞いただきました。

クラブ活動紹介

- マジック・・・第2土曜に活動
- 囲碁・・・今年は、年6回、毎月実施できた。
- パソコン・・・第3水曜日、スマホの扱い
- 水墨画・・・第4水曜日、初心者入門講座
- ゴルフクラブ・・・3/13 最終競技会
第178回大会 優勝者 佐藤 静雄

後期高齢者1年目の3月、2位でしたが、ゴルフを始めて以来最高のスコア83を出し、ベストグロス賞をいただきました。今回2年目の3月、スコア91でしたが優勝することが出来ました。ゴルフクラブには、私より年上の方が何人もおり、その姿に励まされ向上心が掻き立てられます。「まだ伸び代がある。」頑張る。

令和5年度は、役員改選の年です。

選考委員会の推薦を経て、総会で承認されます。役員選考委員の方々は下記の人たちです。会の発展を願い人選よろしくお願いたします。

茅野俊文(3A) 熊野時巳(4B)
鈴木博久(8A) 川口法正(9)

四国遍路 干台 治男(第十五区B)

その(1)「始めよう」とした動機 続き

四国遍路は何も信仰だけで歩くのではない。いろいろな考え方・歩き方があってもよいのではないか。そんな勝手な理屈を考えて四国遍路を始めることにした。

そして、歩くにあたって、幾つかの条件を自分に課した。その一つは一人で歩くこと。これは行程中乗り物を使わないということだ。その日の起点までと終点以後はその限りではないが。二つ目は記録をまとめること。できたら歩きながらFacebookなどを使って発信をしたいと考えた。三つ目は、いわゆるお遍路さんのようにはしないという事。宗教的行事、例えば本堂や大師堂の前で般若心経を唱えたり線香、ろうそくなどを灯したりしない。しかし、訪問した証に納経帳に印はもらうなどはしたい。こんなことを考えて四国遍路を始めた。

四国遍路 その(2)

初めて歩く徳島の遍路は発心の道場といわれて、一番札所の靈山寺から二十三番札所の薬王寺までの約二百二十キロを歩く。そのうち今回は、十七番札所の井戸寺までの八十キロを五日間かけて歩いた。

初日は一番札所から七番札所の十楽寺まで歩いた。靈山寺へは最寄りの坂東駅から道路には青い線が引かれ、それに沿って歩けばいいようになる。しかし、この時期歩いて遍路する人はほとんどいないようで、坂東駅で降りた

遍路はわたくしともう一人だけだった。事前情報通りこの時期に「歩き遍路」をする人はほとんどいなかった。靈山寺は、最初だったのでちよつとまごついたが、それでも本堂と大師堂に挨拶をして、納経所で無事納経をもらうことができた。

二番札所、三番札所と過ぎていくと、だんだん慣れてきて普通に歩くことができた。しかし四番札所の大日寺は少し離れた山の中にある。ここで迷子になってしまった。遍路途中近道をしたくてカットしたのが原因だった。迷ったときは原点へという原則にしたがって、三番札所の金泉寺まで戻ると、再び「道しるべ」を見つけることができた。

二日目からだいぶ慣れてきて予定通りに歩くことができた。しかし、三日目の焼山寺は大変だった。この区間はいわゆる「遍路ころがし」という山道がある。七百メートルの高い山を越えていく道だったが、高尾山に上っている身として山道はそれほど大変ではなかった。しかし山道で精力を使い果たしたからか、宿までの十数キロは大変だった。

四日目は宿から次の札所まで二十キロ近くロードを歩いたが、変化のある道で楽しかった。さらに札所は比較的近いところにあつたので五日目の予定の十七番札所の井戸寺まで行くことができた。

最終日は、井戸寺にもう一度より、徳島駅まで歩いて第一回目の遍路を終えた。